



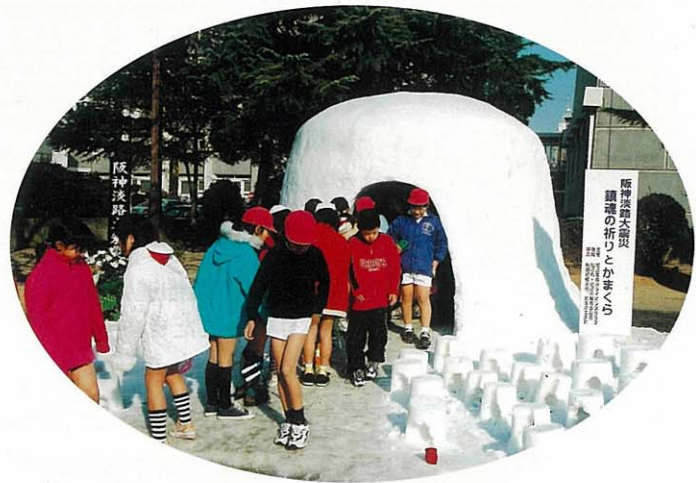
色



仮説住宅時代から被災地に向けて続けられている絵てがみ教室活動
(姫路の心のケアネットワーク)



西宮市内の犠牲者と同数のリンゴの木を植える活動
(環境美化をすすめる会)



市内の犠牲者の慰霊と復興への努力を続ける人々への励ましを込めて
(尼崎琴の浦ライオンズクラブ)



新たな拡がりコンセプトで後輩に引き継がれた「白いリボン運動」
(関西学院ヒューマンサービスセンター)



国境を越えた言葉や音楽が神戸にくらす多くの国の人々の心に灯りを灯した
(FMわいわい)



音



被災地を励ましてきたニューイヤーコンサート



1.17 正午に神戸港に響く追悼の汽笛

動



震災体験現地交流プログラムとして全国からの修学旅行生を受け入れ、震災を次世代に伝える（神戸まちづくり研究所）



東は尼崎、西は姫路まで県下全域で動いたデモ風景（被災地障害者センター）



50年近く毎日続くラジオ体操の「1.17」は手作り祭壇での黙祷から始まる（会下山ラジオ体操会）



様々な地域や年齢の人の力が集まって毎年広がりを見せる長田の追悼行事
(1.17 KOBEに灯りを in なかた)

灯



戦災と震災を経て残った市場の防火壁「神戸の壁」は淡路島でこれからも震災を伝え続ける
(リメンバー神戸プロジェクト)



500基の地域の児童、障害者、高齢者手づくり灯ろうで文字を作り慰霊を行う
(阪神高齢者・障害者支援ネットワーク)